

田を守り、信頼される会社経営を目指して

米麦大豆経営 城島町

有限会社 古賀農産 古賀 ^{ひとはる} 士陽さん (33歳)

●●● 就農のきっかけ ●●●

福岡県内で初めて法人化し、頑張る父の姿を見て育ったので、以前から就農を考えていました。民間会社に就職し、社会勉強を積んで、20歳で農業の道に入りました。8年目に「お前に任せる」と父に言われたときは嬉しかったですね。

●●● 法人・担い手農家としての責任 ●●●

農業大学校の新卒者など従業員はみんな若く、法人として、また地域の担い手農家としての責任を感じています。雇用や農地の維持など地域に貢献できるように努力し、みんな笑顔で農業ができるように頑張ります。

●●● 人脈づくり ●●●

同世代の多業種で集まるグループを作って、情報交換をしています。また、北野町の大規模施設野菜経営の(株)カラーリングファームとは人材交流をしています。経営品目が違うからこそ、お互いに多くのことを学んでいます。

●●● 今後の展望 ●●●

従業員は3人になり、耕作面積も増えましたが、先輩農家を見れば「まだまだ」だと思います。常に家族経営からの脱却を考え、地主からの信頼を得て、もっと農地を任せてもらえる会社に成長させたい。生産者良し、取引先良し、消費者良し、従業員良し、地域良し、みんなが満足できる「五方良し」の理念を持って取り組んでいきます。



プロフィール

- 労働力構成/本人、父、妹、常時雇用3名
- 就農年数/13年
- 耕作(経営)規模/米16ha(外受託15ha)、麦31ha、大豆10ha、野菜(アスパラガス、レタスなど)4.65ha
- 販路/米は契約、麦大豆はJA、野菜は契約



安定した収量の確保を目指して 栽培方法の探究を続ける

イチゴ経営 三潯町 井寺 清春さん (33歳)

●●● 就農のきっかけ ●●●

イチゴと米麦を経営する両親の元で育ち、自然と農業を意識していました。

「一度は外の世界で経験を。」という父の勧めで、1年間運送業に携わった後、21歳で親元に就農しました。

●●● 農業への思い・こだわり ●●●

就農後は、基本的な栽培技術を両親から学びながら、近隣のイチゴ農家との情報交換などを通して、徐々に栽培技術を身につけました。

2年前からは、管理するハウスを両親と完全に分けており、ハウス毎に肥料を変えてみるなど、失敗を恐れずに自らの考えで試行錯誤を続けています。

●●● うれしかったこと・辛かったこと ●●●

繁忙期の冬場は、早朝から深夜まで作業に追われることもあります。それでも、時間と手間を惜しまずに努力した成果や、様々な栽培方法を試した結果が、収穫時にはっきりとわかることが農業の魅力であり楽しみです。

●●● 今後の方向性・展望 ●●●

現在の営農規模を維持しながら、収量向上を目指します。

父親のように、気候に左右されにくい、安定した収量を確保できるよう、自分なりの栽培技術確立に向けてチャレンジしていきます。



プロフィール

- 労働力構成/本人、父、母、妻、臨時雇用:最大5名
- 就農年数/12年
- 耕作(経営)規模/45a(うち20aが本人主体の経営)
- 販路/JA共販

